

環境調査結果のお知らせ

平成29年8月15日午前10時から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温28～30℃、塩分29～34、溶存酸素量5～8mg/lでした。
透明度は3～6mで、有害種のケラチウム属、コクロディニウム・ポリクリコイデスが確認されました。

水温と塩分(表1・2)

水温27.6～30.4℃、塩分29.0～34.2でした。
前回調査時(H29.7.25)と比較して、水温は全層で0.8～2.7℃上昇しました。塩分は全層で0.3～1.7低下しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量5.1～7.9mg/lでした。
前回調査時と比較して、溶存酸素量は表層から5m層及び底層で0.3～0.7mg/l減少し、10m層及び0.1mg/l上昇しました。

プランクトン(表4・5)

透明度は2.5～6.0mでした。
検鏡の結果、魚類に有害なケラチウム属が最高で10cells/ml、コクロディニウム・ポリクリコイデスが最高で2cells/ml確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

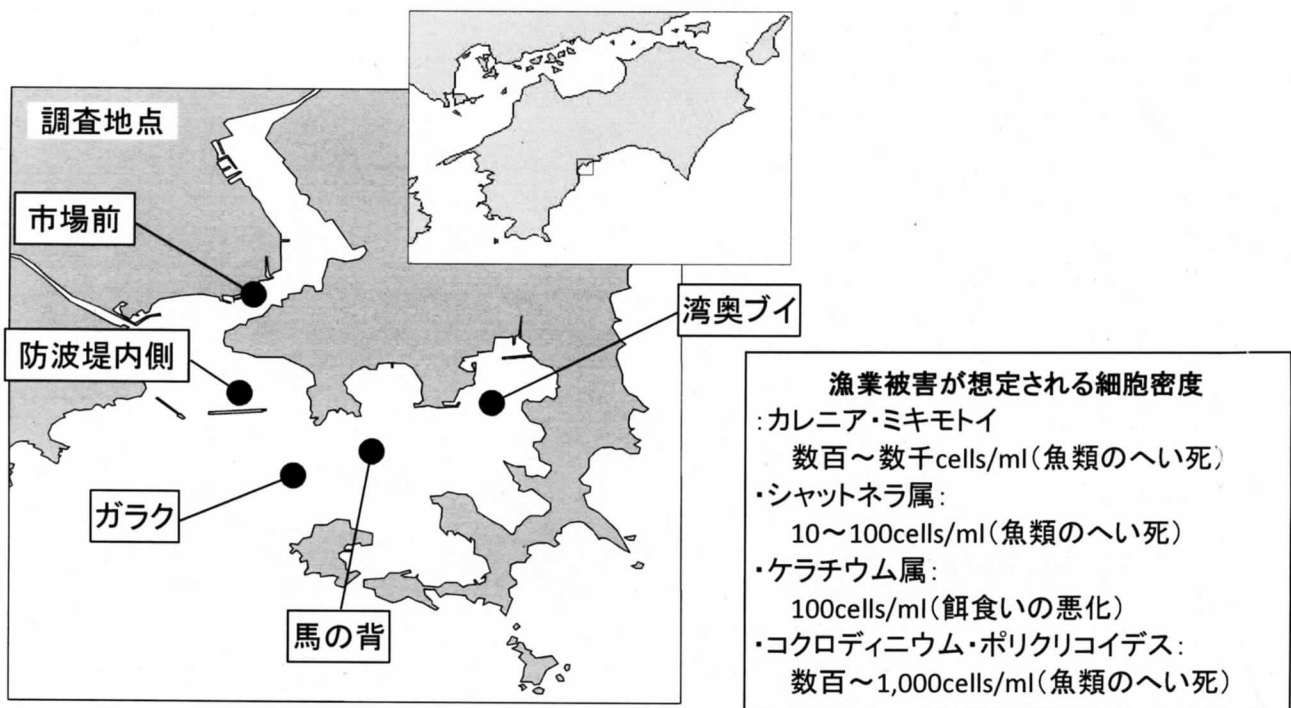


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H29.7.25)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	29.9	29.8	29.7	29.5	29.8	29.0	0.8	29.6
2m	30.0	29.8	29.8	29.7	29.9	28.5	1.4	29.8
5m	30.4	29.5	29.4	29.8	29.8	27.4	2.4	29.7
10m	29.3	29.3	29.1	29.3	29.2	26.6	2.6	29.1
B-1m	28.2	27.6	28.9	28.7	28.2	25.5	2.7	28.8

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H29.7.25)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	31.8	31.7	31.7	29.0	31.7	33.4	▲ 1.7	28.3
2m	32.0	32.0	32.3	31.4	32.1	33.5	▲ 1.4	31.6
5m	32.7	33.0	33.2	32.8	33.0	33.8	▲ 0.8	32.7
10m	33.2	33.4	33.6	33.5	33.4	33.9	▲ 0.5	33.3
B-1m	34.0	34.2	33.8	33.8	34.0	34.3	▲ 0.3	33.5

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H29.7.25)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	7.2	6.7	7.1	7.9	7.0	7.5	▲ 0.5	7.7
2m	7.3	6.9	6.7	7.6	6.9	7.5	▲ 0.6	7.4
5m	7.2	6.6	6.3	7.1	6.7	7.0	▲ 0.3	6.9
10m	6.0	6.4	6.2	6.2	6.2	6.1	0.1	5.6
B-1m	5.2	5.1	6.0	5.3	5.5	6.2	▲ 0.7	5.1

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	17.2	24.8	15.9	13.9	13.7
透明度	4.5	4.0	6.0	3.5	2.5
前回(7/25)	3.5	4.0	4.5	4.0	2.4

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ 属	ケラチウム属	コクロディニウ ム・ポリクリコイ デス	珪藻類
湾奥ブイ	0m	0	0	2	0	4,050
	2m	0	0	3	0	4,000
	5m	0	0	10	0	3,450
馬の背	0m	0	0	0	0	3,650
	2m	0	0	6	0	2,750
	5m	0	0	3	0	3,400
ガラク	0m	0	0	2	0	4,000
	2m	0	0	0	0	4,400
	5m	0	0	2	0	600
津波防波 堤内側	0m	0	0	2	0	9,100
	2m	0	0	2	0	7,000
	5m	0	0	0	0	2,150
市場前	0m	0	0	0	2	6,700
	2m	0	0	1	0	7,400
	5m	0	0	3	0	2,250